

プログラム

開会の辞 13:00~13:05

第36回当番幹事 田村 芳美（独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 泌尿器科）

総会 13:05~13:15

一般演題 A 13:15~13:55 【ストーマケア・業務改善】

座長： 白石 卓也（群馬大学医学部付属病院 消化管外科）

大谷 ゆう子（群馬県立小児医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師）

A-1. 改訂したストーマ指導用パンフレットの評価

群馬大学医学部附属病院 松下 遥香

A-2. HCUにおけるフロチャートを用いた術後入室患者のストーマケア統一

群馬県済生会前橋病院 井上 瑠美

A-3. 消化管ストーマ造設患者へのセルフケア指導の評価と課題

独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター 関口 雄大

A-4. ストーマケア指導標準化の取り組み ~看護師用指導マニュアルの改訂~

群馬大学医学部附属病院 齋藤 洋介

一般演題 B 13:55~14:35 【患者支援・研究報告】

座長： 小林 克己（利根中央病院 外科）

宮田 奈津紀（伊勢崎市民病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）

B-1. ストーマ造設後に社会生活を営む患者が体験する困りごとと対処

JCHO 群馬中央病院 木村 美沙紀

B-2. ストーマセルフケア受け入れ困難な患者との関わり

医療法人社団 東郷会 恵愛堂病院 品川 照美

B-3. 維持透析患者に対するストーマ造設後の看護

利根中央病院 竹内 恵子

B-4. 直腸癌手術による人工肛門出口閉塞 (Stoma Outlet Obstruction)の術前予測因子

群馬大学大学院医学系研究科総合外科学講座 柴崎 雄太

休憩 14:35~14:50

※1階西研修室で企業展示を行っていますので、足をお運びください。

ミニレクチャー 14:50~15:20

座長：真藤由美子（独立行政法人国立病院機構渋川医療センター皮膚・排泄ケア認定看護師）

演題：ストーマとともに生きる患者の生を支える ～看護師の視点～

講師：本多 昌子先生 独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 副看護師長

がん専門看護師/緩和ケア認定看護師

一般演題 C 15:20~16:00 【排尿自立支援チーム活動・症例報告】

座長：柴田 康博（独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター 泌尿器外科）

野口 真澄（黒沢病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）

C-1. 排尿ケアチームの活動と病棟での取り組み

前橋赤十字病院 渡 仁美

C-2. 当院における排尿自立支援の取り組みと課題～外来との連携～

独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター 瀬戸川貴子

C-3. 最近経験したバルーンカテ抜水困難例

－インフレーションルーメン閉塞モデルの作成と添付文書の問題点－

前橋プライマリ 泌尿器科内科 小野 芳啓

C-4. 最近経験したバルーンカテテル抜水困難例－素材による特性の再検討－

前橋赤十字病院 泌尿器科 石尾 典子

休憩 16:00~16:15

※1階西研修室で企業展示を行っていますので、足をお運びください。

特別講演 16:15~17:15

座長：田村 芳美（独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 外科系診療部長）

演題：下部尿路症状はこうして治す～OABから夜間頻尿まで～

講師：日本大学医学部泌尿器科教授 高橋 悟先生

閉会の辞 17:20～

第37回当番幹事 谷 賢実（JCHO 群馬中央病院 外科）